

令和4年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,870	5,944	74	(注1)
施設整備費補助金	134	134	0	
補助金等収入	552	236	△ 316	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	14	14	-	
自己収入	2,756	2,561	△ 195	
授業料、入学金及び検定料収入	2,652	2,466	△ 186	(注3)
雑収入	104	95	△ 10	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	504	540	36	(注5)
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	364	364	(注6)
土地売却収入取崩額	432	361	△ 70	
計	10,262	10,154	△ 108	
支出				
業務費	9,058	8,761	△ 297	
教育研究経費	9,058	8,761	△ 297	(注7)
施設整備費	148	148	0	
補助金等	552	45	△ 507	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	504	293	△ 211	(注9)
計	10,262	9,246	△ 1,016	
収入-支出	-	908	908	

* 金額については百万円未満の単位で四捨五入しているため合計が一致しないことがある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった教育・研究基盤維持経費等が交付されたことにより、予算額に比して決算額が74百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予定していた補助金の翌年度への繰越が承認されたことにより、予算額に比して決算額が316百万円少額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免費交付金が190百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、学内予算において、授業料減免費交付金を授業料収入に含めて編成していることにより、予算額に比して決算額が186百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、学内予算において、科研費の間接経費収入を雑収入として編成している一方で、決算額においては「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」に含めて計上することとされていること等により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金の受入が見込より増加したこと等により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注6) 前中期目標期間繰越積立金取崩額については、令和3年度未処分利益が積立金として承認され、前中期目標期間繰越積立金として第3期中期目標期間より繰越したものの取崩しを行ったため、予算額に比して決算額が364百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、経費削減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が297百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が507百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、決算額には次年度への繰越額を含めていないこと等により、予算額に比して決算額が211百万円少額となっています。